

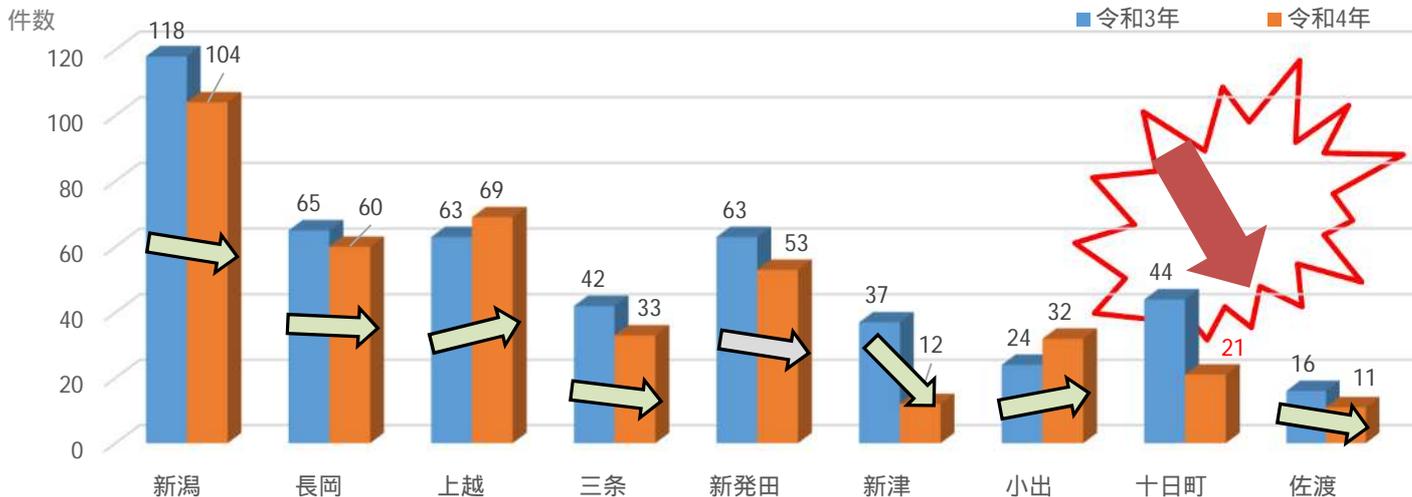
十日町市・津南町の建設業の皆様へ**お願い**です！

令和5年度建設工事着工期等労働災害防止について

～ 始業、昼休憩、終業の前後に労災多発～

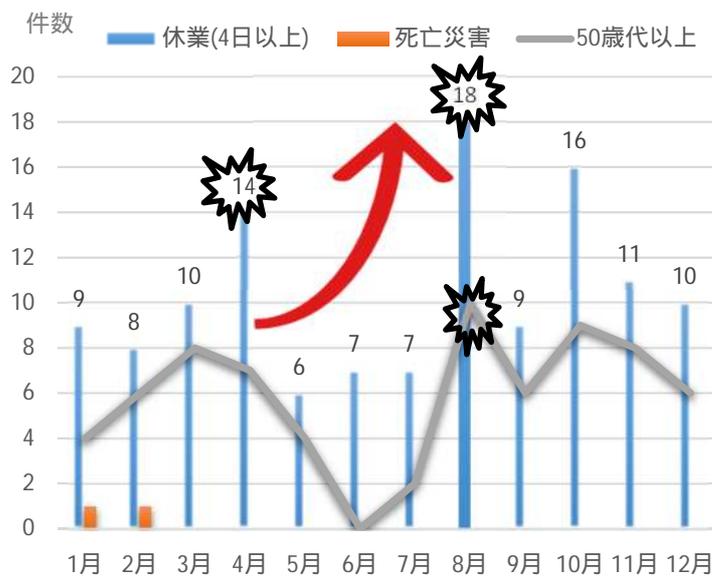
十日町労働基準監督署管内の建設業で、休業4日以上[※]の労働災害について分析したところ、次の傾向であることが分かりました。

建設業の年別労働災害発生件数の推移(R3:R3.1.1～R3.12.31 R4:R4.1.1～R4.12.31)

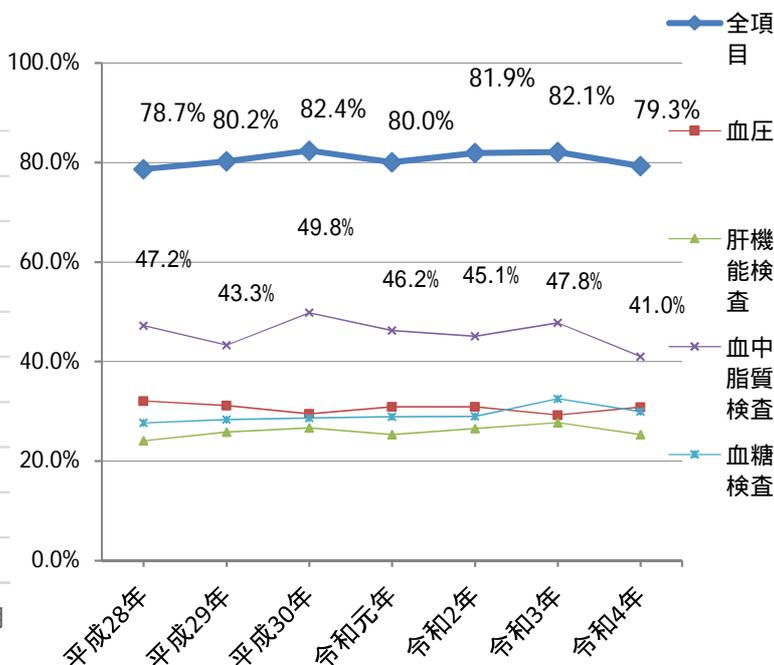


十日町労働基準監督署管内の増減率(建設業) **約50%減** (局全体:11.5%減少 速報値)

当署管内の建設業における月別労働災害発生件数
(第13次労働災害防止推進計画期間中(13次防):H30.1.1～R4.12.31 速報版))



定期健康診断における所見率の推移(管内建設業 速報版)



労働災害での悲しみをゼロにするために

足場等の墜落防止、フルハーネス型墜落制止用器具の使用、玉掛け作業時のはさまれ災害防止対策を講じてください。
長時間労働や健康リスクの高い状況にある労働者に対する健康確保措置を講じてください。
エイジフレンドリーガイドラインに基づく職場環境の改善、労働災害防止に取り組みましょう。

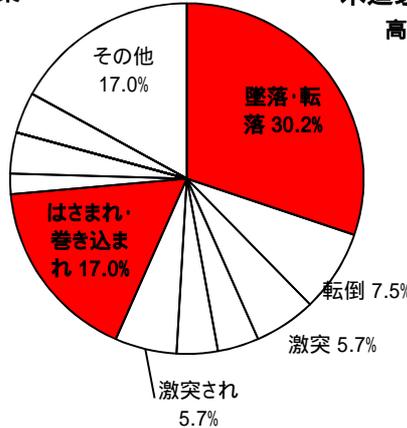
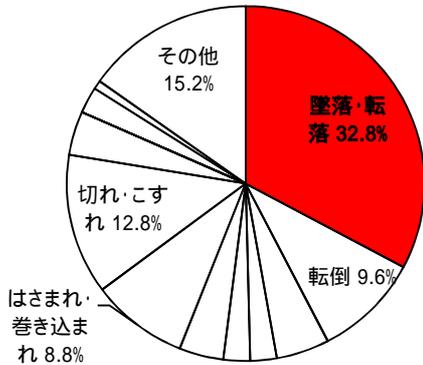
労働災害が発生しやすい状況等は次のとおりです(当署管内:13次防期間中 速報版)

4月・8月	月・火曜日	始業・お昼 ・終業その前後	骨折(56.8%)
事業場規模 20人以下	50歳代以上(56%)	はさまれ・巻き込まれ (土木工事業)	熱中症・切れ、こすれ (木建)

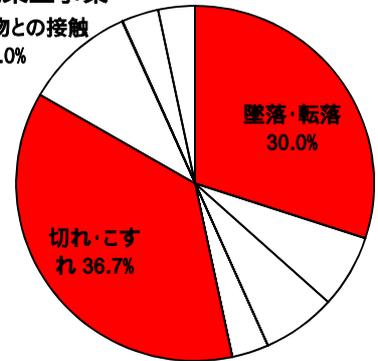
建設業

土木工事業

木造家屋建築工事業



高・低温物との接触
10.0%



一度被災すると

約47日間の休業を余儀なくされます。

災害事例(当署管内 13次防期間中(H301.1 ~ R4.12.31))

発生状況	発生状況
スノーダンプによる雪下ろしで軒先から棟に向かって作業中、急に倒れこみ、救急搬送されたが病院で死亡した。(40代男性・14時台・経験期間臨時・死亡)	地盤から2.5m下の簡易土留内で、マンホールの据付作業中、バックホウのオベが中の状況を覗き込み着席した後、操作レバーが衣服に引っ掛かり、アームが急作動したため、吊荷が振れ、マンホールと土留めの切梁にはさまれた。(20代男性・10時台・経験期間8年・休業見込み4か月)
屋根のアンクル交換作業中、はしごに移る際に、はしごが固定されておらず、はしごと共に転落。(50代男性・16時台・経験期間10年以上・休業見込み3か月)	屋外の足場組立作業を終え、片づけ中に、気温湿度が高い中、雨具を着用しての作業だったため、熱中症を発症。(30代男性・17時台・経験期間10年・休業見込み5日)
屋根改修工事において、屋根葺き作業中、おりからの雨で屋根面が濡れていたために足が滑り、1.5m下の足場の手すりに転落した。(50代男性・11時台・経験期間20年以上・休業見込み1か月)	自社構内で木材加工機で木材の溝加工中、木材が跳ね飛び、押さえていた左手がカッター部分に接触。(60代男性・13時台・経験期間21年以上・休業見込み1か月)

年度当初(4月)や8月の始業、昼休憩、終業の前後で、50歳代以上の男性で労働災害(土木:墜落、はさまれ 木建:熱中症、切れ・こすれ)が発生しやすい状況です。また定期健康診断の所見率が県内、全国に比べ高い割合となっています。エイジフレンドリーガイドラインを参考に職場環境の改善、労働災害防止を図るとともに、健康診断の完全実施、事後措置の徹底を図るようお願いします。

参考資料

SAFE
Safety for All
Employees

SAFEコンソーシアムポータルサイト
<https://safeconsortium.mhlw.go.jp>

職場のあんぜんサイト
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

過重労働による健康障害を防ぐために

過重労働による健康障害を防ぐために

エイジフレンドリーガイドライン
高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン